



くるめ見守り通信

第6号

令和2年2月発行 久留米市健康福祉部地域福祉課
電話：0942 - 30 - 9174 FAX：0942 - 30 - 9752



この通信は、「くるめ見守りネットワーク」に協力していただいている皆さんに、見守り活動や「くるめ見守りほっとライン」への通報の状況などをお知らせするものです。

久留米市では、高齢の方も、障害のある方も、お子さんも、誰もが住みなれたまちで自分らしく暮らし続けることができるよう、見守りネットワーク事業を推進しています。現在、106の協力事業者、地域で見守り活動を行ってくださっている方たちと連携をとりながら、事業に取り組んでいます。

平成31年4月1日～令和2年1月31日までで、39件の情報提供が寄せられました。そのうち安否確認に関する情報提供は30件で、その中の4件が人命救助につながりました。

また、今年度は、「近隣に心配な人がいますが、どちらに相談したらいいですか」というようなご相談もお受けすることが多くなりました。地域の皆さんの“さりげない見守り”への意識が高まっているようです。

孤立死を防いだ6人と5団体を表彰

見守りほっとラインには、人命救助につながる情報提供も寄せられています。

久留米市では、地域での見守り活動の中で異変に気づき、救命につながる通報を行い、孤立死を防ぐなど、顕著な功績のあった方を表彰することになりました。

人命救助につながったケースは、日頃から、地域の皆さんや協力事業者の皆さんなど何らかの“つながり”がある場合がほとんどです。このような、地域の中での“お互いの顔が見えるつながり”は、地域での支え合いの大きな力になります。



表彰を受けられた皆さん、おめでとうございます

研修会を実施しました —孤立を見逃さない地域—

令和2年1月31日(金)、NHK 名古屋放送局報道部チーフプロデューサーの板垣^{いたがきよしこ}淑子先生を講師にお迎えして、地域での孤立防止についての研修会を行いました。

研修では、板垣先生が制作に携わられた番組映像を交え、現代社会の課題について「漂流老人」「ちょっと踏み込んだおせっかい」などのキーワードを用いながらお話いただきました。

また、孤立防止のための地域活動の事例についてもお話があり、受講された方からは「有償ボランティアや地域特性にあわせた支え合いの仕組みづくりなどについてもっと話を聞きたかった」「地域での孤立防止のために、今からできることを考えるきっかけになった」などの感想をいただきました。



講師：板垣淑子先生
(NHK 名古屋放送局報道部)



今回の研修の内容を、地域での見守り活動などに役立てていただくと幸いです。久留米市でも、皆さんからの通報内容や対象者のセルフネグレクト※傾向などの分析を進め、「くるめ見守りネットワーク」の推進に活用していきたいと考えています。

※セルフネグレクト…生活環境や栄養状態が悪化しているのに、それを改善しようという気力を失い、周囲に助けを求めない状態を指す。『ゴミ屋敷』や『孤立死』の原因とも言われている。

← <<研修会の様子>>
約90名の方にご参加いただきました。

生前の孤立防止について一緒に考えてみませんか？

地域福祉課では、出前講座『地域で孤立を防ごう—それが大事。あなたの気づき—』を行っています。この講座では、地域の皆さんと一緒に「孤立に陥ってしまう原因」について理解を深め、地域でのつながりの大切さ、地域でつながっていくためにできることを考え、話し合っています。

5名以上のグループであれば、どなたでも受講できます。

お気軽に久留米市地域福祉課(0942-30-9174)までお問合せください！

『いつもと違う、気になるサインにピンときたとき』

くるめ見守りほっとライン

くるめ・みまもり・サン・キュー
0942 - 30 - 9 3 3 9

24時間 365日 受付中！

